

中部病院同窓会の皆様にお知らせです。

南大東診療所で週・月単位で診療応援が可能な総合診療科・内科等医師募集！

令和7年4月より、予定外に沖縄県立南部医療センター・こども医療センター付属南大東診療所に常勤医師が不在となりました。

中部病院 OBOG の皆様がご存じのように、南大東島は沖縄本島の約 360km 東方に位置し、人口は約 1200 人（令和6年5月現在）です。南大東診療所は島の唯一の医療機関として、島民の暮らしになくてはならない存在です。しかしながら、今月より常勤医が不在となり、県立南部医療センター・こども医療センターと県立中部病院を中心に県立病院有志医師が交代で代診に入っている状況です。

場合によっては令和7年度いっぱい、常勤医が確保できる見込みが薄く、非常に脆弱な体制となっています。

さらに、このままでは県立病院職員の代診リソースが枯渇し、ほかの県立離島診療所への代診も困難となってしまう恐れもあります。

もし可能であれば南大東診療所へ1週間単位以上、月単位で代診ができる方がいらっしゃったら大変ありがとうございます。

長期の応援は直近での日程調整は難しいと思いますが、例えば8-9月以後、年度内であればいつでもご都合に合わせて調整が可能です。

さらに、年度途中からでも常勤医としての採用も可能です。特に、定年退職の方であっても臨時任用職員として、ほぼ正規職員と同等の待遇での採用が可能です。

沖縄県の小規模離島の診療を応援いただきたく、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ：

- ・沖縄県立南部医療センター・こども医療センター総務課 xx036072@pref.okinawa.lg.jp
- ・同副院長兼母子センター長 中矢代真美 nakayashiro_mami@hosp.pref.okinawa.jp

追伸：昨年度は病院事業局の医療企画監として、この同窓会MLに県立八重山病院の小児科へ応援診療をお願いしました件につき、ご報告申し上げます。募集の結果多くの同窓生に応じていただき、八重山病院の小児診療が継続できました。令和7年度からは八重山病院に定数以上の常勤小児科医が確保できております。皆様のお力沿のおかげです。中部病院同窓会のパワーのすごさを改めて再認識しました。心より感謝申し上げます。